

武蔵台だより

第361号

発行 こま武蔵台自治会
 ☎ 982-3904
 編集 広報部
 発行部数 2,500部 (単価47円)



未来に向かって、活力ある武蔵台を創る！
 街を元気に！ いまわたし達は何をしたらよいか？

こま武蔵台自治会会長 柳 沢 弘 二

わたし達の街は、「居場所づくり」や「交流の場づくり」をやってきました！

ふれあいサロン、ショッピングセンター、ふれあいマルシェ、武蔵台サロン、こども屋台プロジェクト、夏祭り等々。少しずつ住民相互の絆が育まれていると感じます。

しかし、ふと立ち止まって、わたし達の街を客観的に見ると、社会全体が成長と活力に満ち溢れていた30数年前とは大きく変わり、高齢化、空き家の増加、人口の減少など、難しい課題が目の前に立ちはだかっています。

武蔵台の老年化指数（65歳以上と14歳以下の人口比率）は、平成28年1月の統計で66.8でした。これは、埼玉県の前平均値19.1の実に3.5倍です。今年9月の朝日新聞埼玉版のコラム記事で、「埼玉県政策課題研究グループがまとめた報告書の中で、武蔵台が県内のニュータウン消滅可能性ランキング

3位」と報じられ、大変ショックでした。この数値は実態と異なると反論される方もいます。

しかし、統計的な数値を基に客観的に

若い世代が移り住み、高齢世代とのコラボが生まれる街を目指して！

武蔵台を、将来に向けて持続し、活力のある街にしておくことは、次の世代のひと達に対するわたし達の責任でもあります。この緑濃く、風が季節の香りを運んでくる自然豊かな街を、次の世代のひと達に引き継いでいくことが、わたし達に求められています。

そのためにも考えるべきことはなにか？ いろいろ考えられる中で、いま最も重要なことは、『若い世代が移り住む』街にすること、そして『高齢世代と若い世代のコラボが生まれる』街を目指す

●皆さんはどんな武蔵台を夢見ますか？●

こま武蔵台シンポジウム開催

約40年前武蔵台は近代的で多くの方が憧れた夢のニュータウンでした。全国的にニュータウンの空き家、空洞化などが問題になっています。そしてその問題をいち早く解決したいと取り組む自治体が増えてきました。武蔵台でも良さを残しながら元気な街になるのかを考えていくシンポジウムが開催されます。

3名の専門家が武蔵台の今と近未来について話します。

- ・中村 文彦 横浜国立大学 副学長
都市交通計画の課題専門
- ・樋野 公宏 東京大学都市工学科 准教授
2015年よりアンケートなどを実施。武蔵台団地街づくりの共同研究実施中
- ・鈴木 亮平 NPO 法人バレーン代表
ショッピングセンター「ふれあいマルシェ」にてこども屋台プロジェクトを指導中

2018年12月16日(日) 14時から(13:30開場)
武蔵台公民館▷入場無料

に評価された状況は重く受け止めなければなりません。

い世代が魅力を感じるように東京大学の学生のアイデアを盛り込んだりニューアルを行い貸出す。まさに、武蔵台活性化に結びつく空き家活用プロジェクトです。

東大や東急不動産グループの専門家による提言を基にその活動が始まるうとしていきます。

3年以上に渡り、東急不動産グループは東京大学都市工学科の協力を得て、武蔵台の現状把握と未来への提言をまとめる活動を展開してきました。わたし達にとって大変ありがたいことです。

そして、今年、いくつかの提言を基に、(株)東急不動産R&Dセンターが『空き家活用の実験的プロジェクト』を実施するところまで進んできました。武蔵台の空き家を東急側が借上げて、若

動が武蔵台に活力を創ります。そして、未来を見据えた活動の中に高齢世代と若い世代のコラボレーションが生まれると信じています。

平成30年度(9月) 第6回定例役員会報告

9月15日(土) 午後7時~9時

自治会館2F会議室

【連絡事項】

- (1) 市防災訓練 8月26日(日)報告
・安否確認参加率 95.9戸/46.5%
・防災無線放送 5丁目地域の改善対策 H31年度デジタル化
- (2) 体育祭について 9月30日(日)
- (3) 武蔵台公民館文化祭について 10月27日(土)・28日(日)
- (4) 夏祭り報告
・10協力団体と57人の地域協力者へ礼状
- (5) 武蔵台婦人防火クラブからの寄付金(184,923円)
- (6) 東急不動産・空き家活用プロジェクト説明会について 9月22日(土)
・自治会三役及び関連部門長、各地域団团长参加予定
・地区計画や住環境が守られていくことを考慮
- (7) 老朽街路樹の調査、倒木危険樹の伐採について
・3本の危険樹木あり
- (8) 中央通り 5丁目脇、木綿沢交差点付近のグレーチング騒音対策
- (9) 6丁目果樹の広場 下草刈り(9月22日)と有効活用案の検討
- (10) 資源ごみ回収業者・宮本商店廃

【報告事項】

業に伴う対応
・11月からますや商店に決定

- (1) 地区長からの報告
4丁目
自治会加入者が3名中2名で班長を担当。会長を交えて相談予定
- (2) 副会長・事務局からの報告
事務局 事務所のエアコン、掃除機が壊れたので購入をしたい
- (3) 各専門部からの報告
会計部 夏祭り会計報告
安全対策部 月に60数件ほどの要望と対応をファイル化
環境衛生部 街路樹下に植物を植えているが手入れをしていない所は除草したい
文化厚生部 10月のサロンは防災教室
- (4) 会長・区長からの報告
会長/区長の主なスケジュール
・9/17(月) 天皇皇后両陛下訪問記念除幕式
・9/21(金) 地域ケア会議
・9/22(土) 東急不動産/空き家活用説明会
・10/19(金) 高麗神社例大祭
・10/20(土) 台中30周年記念式典

平成30年度(10月) 第7回定例役員会報告

10月20日(土) 午後7時~9時

自治会館2F会議室

【協議事項】

- (1) 4丁目2ブロック8班と9班の統合について
班会合にて各班の実状を理解し統合の合意を図る
- (2) 東急不動産・空き家活用プロジェクトについて
プロジェクト活動を回覧、広報誌で周知を図る
・地域環境に悪影響をもたらさないことを前提にしたPJにする
- (3) こま武蔵台シンポジウム「郊外型住宅団地の今、将来」
12/16(日) 公民館にて
シンポジウム実行委員会が主催し、自治会、日高市、社協が後援

【連絡事項】

- (1) 中間決算の監査実施(10/8)
- (2) 武蔵台公民館文化祭(10/27・28)の模擬店出店準備状況
- (3) 団地内大掃除を11月11日に予定
- (4) 11/14(水) バス旅行の参加者募集継続
- (5) 老朽街路樹の調査、幹線道路沿い倒木危険樹の伐採について

【報告事項】

- (1) 事務局 事務所エアコン、ホワイトボード更新
- (2) 各専門部からの報告
会計部 今年度社協会費集計値 434千円(対前年19%増)
環境衛生部
ダストボックスの防水保全
作業を順次開始
体育部 11/4ペタンク 11/24ハイクンケ
- (3) 会長/区長の主なスケジュール
・11/15(木) 福祉ネット会議
・11/21(水) 区長研修会/地域ケア会議

**バス旅行申し込み
まだ間に合います!
一緒に行きましょう**



不可欠！防災努力の心構え

8月26日開催の「防災訓練」から3か月が過ぎ、その間に日本を襲った台風21号、24号での水害や風害、北海道でのM7地震での自宅損壊で、いまだに多くの方が避難所生活をされておられます。当団地付近は地盤が硬いことから地震の揺れが増幅されず建物被害が少ないはずと安心されていませんか？、その影響が防災訓練後の「安否確認46%」パーセントの低さからも推測できそうです。つまり、自然災害への危機意識が低いのではと推定しております。しかしながら、皆さま、よく考えて欲しいのです。建屋の倒壊が無いだけで「安心、安全」とは言えません。電気、ガス、水道、食糧供給（総称：ライフライン）が絶たれた場合、この地域での「陸の孤島化」事態がとても心配です。

特に「高齢化率（65歳以上で14歳以下の住民率）」の値が高い当団地ですの

で、冬に向って「ライフラインの遮断」が長期化されますと、特に高齢者、幼い子供たちにとっては生活面での大打撃となります。そのような災害時の「減災努力」の心構えを常に保ち、自治会に頼らず各家庭側にてしっかりと発揮しておくことが重要です。是非、日高市の防災対策ページを参考に直ぐにでも着手し、準備を進めてください。

（安全対策部・水谷）

武蔵台婦人防火クラブ 長い歴史に幕を下ろしました

武蔵台ができた頃は30〜40代の家庭が多く、男性は都心へ仕事に行くため日中は女性のみがこの街にいたことになりました。昔からある街とは違い武蔵台には男性のいる会社や個人店などがないので、消防団なども作ることが出来ませんでした。人口も急激に増え

消防活動などの課題が問題になってきたそうです。その中、武蔵台に「武蔵

| 分類 | 内容 |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個別に準備するもの | <ul style="list-style-type: none"> ヘルメット 手袋 衣類（下着、長袖、長ズボン） タオル 懐中電灯 現金（小銭含む）など |
| 家族で準備するもの | <ul style="list-style-type: none"> 食糧品（3日分） 水（1人3リットル×3日分） 携帯ラジオ（予備電池含む） 雨具 卓上コンロ ライター、マッチ 救助用工具（スコップ、パルなど） 救急医薬品 消火器 印鑑 預金通帳 など |
| あると便利なもの | <ul style="list-style-type: none"> ラップフィルム 食器にかぶせて使用。食器を洗う手間が省け、水不足のときに重宝します。 ウェットティッシュ 洗顔や傷口の洗浄などで使用します。 ビニール袋 ごみ袋のように大型のタイプは、穴を空け、頭からかぶればレインコートに。段ボール箱に重ねれば簡易トイレに。水の運搬にも使え、何かと便利です。 |
| 乳幼児や要介護者のいる家庭 | <ul style="list-style-type: none"> 粉ミルク 哺乳瓶 紙おむつ 常備薬 介護用品 など |

日高市の防災対策ページから

「武蔵台婦人防火クラブ」が結成されました。当時は20名ほどの方が消火栓、放水、防火などの練習をして、それを学校の生徒、PTA、子供会などで消火訓練を行っていました。その効果もあり、この街では今に至るまで火災、小火は少ない件数で維持しています。

そんな「武蔵台婦人防火クラブ」も会員の高齢化や時代背景が変わり、幕を下ろしました。その際、活動費として当時の日高町、武蔵台自治会より受けたお金の清算をしました。金額は18万4923円が残っていたそうです。この度、市役所に確認をし武蔵台自治会へ寄付をすることを了解いただき、9月に自治会へ18万4923円を頂きました。

「武蔵台婦人防火クラブ」の当時の会長さんから、こんなコメントが届いています。消火栓の蓋を開ける、ホースを繋ぐ、放水をする一見簡単に見えるように思いますが、どの作業もとても力のあるものです。当時、練習をしていた時に「これは女性には難しいのでは？」と思ったそうです。そのことから、初期消火が日々の生活では大切なこと。そして日頃訓練をしてもやはり火を見ると、とても怖くなり練習のようにはいきません。初期消火は命の街を守る一番大切なことです。日頃から心がけ、練習する機会を大切にしてくださいと教えていただきました。防火婦人クラブの皆さん長い間ありがとうございました。

（広報部・渡部）



♪ 毎月第3日曜日は マルシェの日です♪

9月16日（日）10時ごろから始まったマルシェでミニコンサートがありました。シヨッピングセンター内には子ども好きな曲も流れました。多くの方が日曜日の昼間を楽しんでいました。子ども屋台の主役たちは10月21日（日）のマルシェでメダカの販売に向けて勉強をしていました。この時期はとても活動しやすい時期です。シヨッピングセンターではこの他毎月第一週にもくるくる市場が開催されています。ぶらりと武蔵台を楽しんでください。

（広報部・渡部）

体育祭が晴天の中 開催されました

恒例の体育祭が、10月7日(日)武蔵台小学校グラウンドで開催されました。順延により、当日早朝からの準備となりましたが、役員のみなさんの働きで無事スタートすることができました。徒競走に始まり、人気のパン食い競争は整理券を用意する程の盛況であったり、レスキュー綱引きでは、応援メンバーが到着する前に、決着がつくというハプニングが起きたりしました。が、楽しい雰囲気が進んでいきました。両自治会の対決は、武蔵台地区が前半のリードを守りきっての勝利で、12



マイタウン情報



連覇を達成しました。昼食は、自治会名物の巨釜による豚汁でしたが、大変美味しくいただきました。ごちそう様でした。(体育部)



武蔵台サロン防犯教室 「消費者トラブル問題」

第4回武蔵台サロンは防犯教室第2弾として、「消費者トラブル」の問題について、武蔵台在住の川地光恵さんを講師としてお迎えし、自治会館で行われました。

長年にわたり消費者トラブル問題に従事して来た講師のお話は大変分かりやすく、要点をまとめたレジメの配布もあり、参加された皆さんもお話に納得されていました。

あの手・この手と迫ってくる悪質商法を七つに分類して、①リフォーム商法 ②かたり商法 ③利殖商法 ④送

り付け商法 ⑤押し買い ⑥次々販売 ⑦催眠商法とあり、それぞれに事例を紹介されていました。そして「おかしいな」と思ったらすぐ、次の格言を実行することがトラブル回避の秘訣ですと教えてくれました。皆さんも、ぜひこの格言を覚えて実行して下さい。

- お** おかしいと思ったら時は電話切る 買いません、帰して下さいと押し返す
- か** しつこいな、そんな相手は110番
- し** 悩むより、早く良く効くクーリングオフ
- な** 消費者ホットラインは0188です。気軽にご相談下さい。



武蔵台サロンからのお知らせ

11月はバス旅行です
12月12日(水) 落語(今年最後に
大笑いしましょう！)

(文化厚生部・柏木)

リレー随想

これからも武蔵台

今年もまた巾着田の曼殊沙華の季節がやってきました。この季節と共に遠方より友達が集まってきました。武蔵台から歩いて巾着田や少し遠くの高麗神社までゆつくりと散策に出かけます。帰りには新鮮な野菜や季節の栗をどっさりお土産に買っていきます。

ここ武蔵台は居ながらにして四季の自然を感じさせてくれます。年の初めの高麗神社の参拝に始まり、桜通りで春の景色を満喫し、夏の川遊びや、そして秋の彼岸花やコスモスと、健康を兼ねての散策には打ってつけです。

武蔵台に住み早30年、年と共に様変わりして、家と共に私達も老朽化はし



ましたが、登下校の子供達の元気な声を糧にこれからも静かで落ち着いた武蔵台に根付くつもりです。(M・K)

犬のフン放置禁止

犬と散歩している方をたくさん見かけます。犬に引きずられていたり、数匹の犬のリードを束ね、サーカス小屋の調教師のように歩く人など様々。ペットは生活に喜びを与え、コミュニケーションも円滑にします。

当方、巾着田への散歩を日課にしていますが、あちこちに「フン放置禁止」の看板を見受けられます。実際、散歩コースには放置物が少なくありません。フンの不始末、犬が悪いわけではありません。自分で処理できないいんですから、責任は飼い主にあります。ペットが本当に可愛い家族の一員ならば「始末はいとわないでください。(T・M)

台小放課後教室

グラントゴルフ

台小放課後教室を開催しました。10月12日(金)3時から台小のグラントに6歳〜80歳代と幅広い年齢層が集まりました。グラントゴルフの準備がされています。子どもたちにこの地区のグラントゴルフのグループの方が教えていました。1時間という中で一生懸命ホールインワンを狙って叩いていました。

気合が入りすぎて目標よりはるか先へ行ってしまっていました。以前開催した時からグラントゴルフが子どもたちの中で人気があったそうです。あと何回か開催したら、大会を開催できるまで子どもたちが上手になりそうです。(広報部・渡部)

武蔵台公民館 ジュニアサマースクール

武蔵丘車両検修場では8月27日武蔵台公民館ジュニアサマースクールの受け入れをしました。夏休みの小学生とご家族合わせて18名の皆様に会場頂きました。地元の皆様に武蔵丘車両検修場を御理解頂くため、毎年恒例で行っているものです。

当日は観光電車「52席の至福」の車内見学や、電車の運転台・放送装置・ドア操作等いろいろな装置にふれて頂き、子供たちに喜んで頂きました。武蔵丘車両検修場で楽しい思い出づくりができたなら、私たちも嬉しく思います。

この他にも高麗中学校生の職場体験や読売子供新聞ジュニアサマースクールも開催いたしました。

西武鉄道武蔵丘車両検修場

相浦 伯明



わが街・わが地域・わが暮らしの豆知識

次の時代へ一緒に進みたい

株式会社東急不動産R&Dセンター 副センター長 藤江 亨

東急不動産は会社設立以来、首都圏を始め全国各地において団地開発を行ってきました。今その団地が時間の経過とともに高齢化し、様々な課題を抱えております。こうした課題に対して、ディベロッパー（開発業者）としてどう取り組んでいけば良いのかの検討・研究を数年前から開始しました。こま武蔵台においては、団地の活性化の研究をしている東京大学都市工学科樋野研究室との共同研究として2015年から取組みを開始しました。

まずは団地の住民の皆様の意識調査から始まり、学生たちによる課題解決の提案、ふれあいマルシェの活性化の一環として「こども屋台」の出店などを手掛けて参りました。

団地の課題解決には住民の皆様の活動が不可欠です。今回、団地の活性化につき、住民の皆様に少しでも関心をもって頂き、団地活性化の担い手となって頂くことをお願いし、12月に有識者を招いてシンポジウムを開催いたします。また、団地問題で深刻になりつつある空き家対策の一環として、若者世代に魅力的なりニューアル工事を行い、新たな入居者の掘り起こしを試験的に行って参りたいと思います。

住民の皆様のまちづくり活動や、いつまでも住み良い団地への一助となるべく支援をして参りたいと思いますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

創立 30 周年を無事迎えることができました

日高市立武蔵台中学校長 金井 健治

過日、創立30周年記念式典を、谷ヶ崎市長様をはじめ多数の来賓の方にご臨席を賜り、盛大に挙行することができました。

本校は、平成元年4月1日に開校して以来、すでに3322名が卒業しており、現在、成人された卒業生は、社会の担い手として、様々な分野で活躍していると聞いています。この式典を実施するにあたり、幾度も学校へ出向き、さまざまな面で尽力いただいた地域の皆様に対し、深く感謝申し上げます。

さて、今、大学入試改革や小中一貫教育、コミュニティ・スクールの導入など、学校を取り巻く教

育環境は大きな変換期を迎えています。このような中で生徒がいかに関生きていくか、急激な社会の変化にどう対応していくかなどのさまざまな能力を身につけていくことが求められています。

本校の教育目標の「明るく心豊かな生徒」「自ら学び深く考える生徒」「ねばり強くやり抜く生徒」を目指し、徳・知・体の調和のある人間形成の育成に努めることが、私たち教職員にとって地域や保護者の皆様の信頼にこたえることであると確信しています。この30周年を機に、武蔵台中学校がさらに発展するために、学校と地域が一体となって、これからも歩み続けることを願っています。

今年に入り武蔵台もいろいろ変わり始めました。そして多くの方の記事を読むことで皆さんの考えや思いなども感じます。今年度の広報紙もあと2回。少しでも多くの情報を届きたいと楽しみにしています。

(広報部・渡部)

編集後記

お知らせ

ペタンク大会

11月4日(日) 午前8時30分～
(午前中に終了します)
場所：武蔵台小学校



おくやみ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

石井 博子 (82歳) 五二二七十九
ご逝去日 七月七日
町田 ふみ子 (93歳) 一十九九二二一
ご逝去日 十月三日